様式第二（第二条第一項関係）（日本工業規格Ａ列４番）

（第一面）

変更計画書

年　　月　　日

一般財団法人　滋賀県建築住宅センター

理事長　　殿

提出者の住所又は主たる事務所の所在地

提出者の氏名又は名称

代表者の氏名

印

設計者氏名

　　印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第12条第２項（同法第15条第２項の規定により読み替えて適用される場合を含む。）の規定により、変更後の建築物エネルギー消費性能確保計画を提出します。この計画書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

【計画を変更する建築物の直前の建築物エネルギー消費性能適合性判定】

【適合判定通知書番号】　　　　第　　　　　　号

【適合判定通知書交付年月日】　令和　　年　　月　　日

【適合判定通知書交付者】

【計画変更の対象の範囲】

　□建築物全体

　□建築物の一部（非住宅部分）

　□建築物の一部（住宅部分）

【計画変更の概要】

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付欄 | 適合判定通知書番号欄 | 決裁欄 |
| 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　 　号 | 第　　　　　　 　号 |
| 係員印 | 係員印 |

（注意）

１．第二面から第七面までとして別記様式第一の第二面から第七面までに記載すべき事項を記載した書類を添えてください。

２．別記様式第一の（注意）に準じて記入してください。

（第二面）

　　　［建築主等に関する事項］

|  |
| --- |
| 【１．建築主】  　【イ．氏名のフリガナ】  　【ロ．氏名】  　【ハ．郵便番号】  　【ニ．住所】  　【ホ．電話番号】 |
| 【２．代理者】  　【イ．資格】　　　　　（　　　）建築士　　　（　　　　　　）登録第　　　　　号  　【ロ．氏名】  　【ハ．建築士事務所名】（　　　）建築士事務所（　　　　）知事登録第　　　　　号  　【ニ．郵便番号】  　【ホ．所在地】  　【ヘ．電話番号】 |
| 【３．設計者】  （代表となる設計者）  　【イ．資格】　　　　　（　　　）建築士　　　（　　　　　　）登録第　　　　　号  　【ロ．氏名】  　【ハ．建築士事務所名】（　　　）建築士事務所（　　　　）知事登録第　　　　　号  　【ニ．郵便番号】  　【ホ．所在地】  　【ヘ．電話番号】  　【ト．作成した設計図書】  （その他の設計者）  　【イ．資格】　　　　　（　　　）建築士　　　（　　　　　　）登録第　　　　　号  　【ロ．氏名】  　【ハ．建築士事務所名】（　　　）建築士事務所（　　　　）知事登録第　　　　　号  　【ニ．郵便番号】  　【ホ．所在地】  　【ヘ．電話番号】  　【ト．作成した設計図書】  　【イ．資格】　　　　　（　　　）建築士　　　（　　　　　　）登録第　　　　　号  　【ロ．氏名】  　【ハ．建築士事務所名】（　　　）建築士事務所（　　　　）知事登録第　　　　　号  　【ニ．郵便番号】  　【ホ．所在地】  　【ヘ．電話番号】  　【ト．作成した設計図書】  　【イ．資格】　　　　　（　　　）建築士　　　（　　　　　　）登録第　　　　　号  　【ロ．氏名】  　【ハ．建築士事務所名】（　　　）建築士事務所（　　　　）知事登録第　　　　　号  　【ニ．郵便番号】  　【ホ．所在地】  　【ヘ．電話番号】  　【ト．作成した設計図書】 |
| 【４.確認の申請】  □申請済（　　　　　）  □未申請（　　　　　） |
| 【５．備考】 |

（第三面）

建築物エネルギー消費性能確保計画

　　　［建築物及びその敷地に関する事項］

|  |
| --- |
| 【１．地名地番】 |
| 【２．敷地面積】　　　　　　　　㎡ |
| 【３．建築面積】　　　　　　　　㎡ |
| 【４．延べ面積】　　　　　　　　㎡ |
| 【５．建築物の階数】　（地上）　　　　　　　　階　（地下）　　　　　　　　階 |
| 【６．建築物の用途】　□非住宅建築物　　□複合建築物 |
| 【７．工事種別】　□新築　　　□増築　　　□改築 |
| 【８．構造】　　　　　　　　造　一部　　　　　　　　造 |
| 【９．該当する地域の区分】　　　地域 |
| 【10．工事着手予定年月日】令和　　年　　月　　日 |
| 【11．工事完了予定年月日】令和　　年　　月　　日 |
| 【12．備考】 |

（第四面）

|  |
| --- |
| 【１．付近見取図】 |
| 【２．配置図】 |

（第五面）

　　　［非住宅部分に関する事項］

|  |
| --- |
| 【１．非住宅部分の用途】 |
| 【２．非住宅部分の床面積】　（　　床面積　　）（開放部分を除いた部分の床面積）  　　【イ．新築】　　　　　　（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　【ロ．増築】　　　　全体（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　　　　　　　　　増築部分（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　【ㇵ．改築】　　　　全体（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　　　　　　　　　改築部分（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡） |
| 【３．基準省令附則第３条の適用の有無】　　□有　□無  　　　　竣工年月日　　　　年　　　　月　　　　日　　竣工 |
| 【４．非住宅部分のエネルギー消費性能】  □基準省令第１条第１項第１号イの基準　□基準省令第１条第１項第１号ロの基準  基準一次エネルギー消費量　　　　GJ/年  設計一次エネルギー消費量　　　　GJ/年  ＢＥＩ（　　　　　　　　）  □国土交通大臣が認める方法及びその結果  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 【５．備考】 |

（第六面）

　　　［住宅部分に関する事項］

|  |
| --- |
| 【１．建築物の住戸の数】　　　　　　　　　　戸 |
| 【２．住宅部分の床面積】　　（　　床面積　　）（開放部分を除いた部分の床面積）  　　【イ．新築】　　　　　　（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　【ロ．増築】　　　　全体（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　　　　　　　　　増築部分（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　【ㇵ．改築】　　　　全体（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡）  　　　　　　　　　　改築部分（　　　　　　㎡）　　　（　　　　　　㎡） |
| 【３．基準省令附則第２条の適用の有無】　　□有　□無  　　　　認定を受けた所管行政庁の名称（　　　　　　　　） |
| 【４．基準省令附則第４条の適用の有無】　　□有　□無  　　　　竣工年月日　　　　年　　　　月　　　　日　　竣工 |
| 【５．住宅部分のエネルギー消費性能】  □基準一次エネルギー消費量　　　　GJ/年  設計一次エネルギー消費量　　　　GJ/年  ＢＥＩ（　　　　　　　　）  □一次エネルギー消費量に関する仕様基準  共用部分の基準一次エネルギー消費量（　　　　　　　　GJ/年）  共用部分の設計一次エネルギー消費量（　　　　　　　　GJ/年）  □国土交通大臣が認める方法及びその結果  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 【６．備考】 |

（第七面）

　　　［住戸に関する事項］

|  |
| --- |
| 【１．住戸の番号】 |
| 【２．住戸の存する階】　　　　　　　　階 |
| 【３．専用部分の床面積】　　　　　　　㎡ |
| 【４．住戸のエネルギー消費性能】  １．外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項  □外皮平均熱貫流率　　　　　　　W/(㎡・K) （基準値　　　　　　　W/(㎡・K)）  冷房期の平均日射熱取得率　　　　　　　　（基準値　　　　　　　）  □外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準  □国土交通大臣が認める方法及びその結果  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □基準対象外  ２．一次エネルギー消費量に関する事項  □基準一次エネルギー消費量　　　　GJ/年  設計一次エネルギー消費量　　　　GJ/年  ＢＥＩ（　　　　　　　　）  □一次エネルギー消費量に関する仕様基準  □国土交通大臣が認める方法及びその結果  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

（別紙）外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準又は一次エネルギー消費量に関する仕様基準を用いる場合

１．住戸に係る事項

（１）外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

１）屋根又は天井

【断熱材の施工法】□内断熱工法　 　□外断熱工法

□充填断熱工法　 □外張断熱工法　□内張断熱工法

【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　 　　　　 ）（厚さ　　 mm）

□熱貫流率（　　　W/(㎡・K)）　□熱抵抗値（ (㎡・K)/W）

２）壁

【断熱材の施工法】□内断熱工法　 　□外断熱工法

□充填断熱工法　 □外張断熱工法　□内張断熱工法

【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　 　　　　 ）（厚さ　　 mm）

□熱貫流率（　　　W/(㎡・K)）　□熱抵抗値（ (㎡・K)/W）

３）床

（イ）外気に接する部分

【該当箇所の有無】□有　□無

【断熱材の施工法】□内断熱工法　 　□外断熱工法

□充填断熱工法　 □外張断熱工法　□内張断熱工法

【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　 　　　　 ）（厚さ　　 mm）

□熱貫流率（　　　W/(㎡・K)）　□熱抵抗値（ (㎡・K)/W）

（ロ）その他の部分

【該当箇所の有無】□有　□無

【断熱材の施工法】□内断熱工法　 　□外断熱工法

□充填断熱工法　 □外張断熱工法　□内張断熱工法

【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　 　　　　 ）（厚さ　　 mm）

□熱貫流率（　　　W/(㎡・K)）　□熱抵抗値（ (㎡・K)/W）

４）土間床等の外周部分の基礎

（イ）外気に接する部分

【該当箇所の有無】□有　□無

【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　 　　　　 ）（厚さ　　 mm）

□熱貫流率（　　　W/(㎡・K)）　□熱抵抗値（ (㎡・K)/W）

（ロ）その他の部分

【該当箇所の有無】□有　□無

【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　 　　　　 ）（厚さ　　 mm）

□熱貫流率（　　　W/(㎡・K)）　□熱抵抗値（ (㎡・K)/W）

５）開口部

【開口部比率】（　 　　　　　　　　　）【開口部比率区分】（　　　　　）

【断熱性能】□建具等の種類（建具の材質・構造　　　　　　　　　 　　 　）

（ガラスの種別 　　　　　　　　　　　　　　　　）

□熱貫流率 （ 　 W/(㎡・K)）

【日射遮蔽性能】

□ガラスの日射熱取得率（日射熱取得率　 　　　　　　　　　）

□付属部材　 （南±25度に設置するもの　 　　　　　　　　 　 ）

　　 （上記以外の方位に設置するもの ）

□ひさし、軒等

６）構造熱橋部

【該当箇所の有無】□有　□無

【断熱性能】断熱補強の範囲（　　　㎜）　　断熱補強の熱抵抗値（ (㎡・K)/W）

（２）空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

【暖房】暖房設備（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

効率（ 　　　　　　 ）

【冷房】冷房設備（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

効率（ 　　　　　　 ）

【換気】換気設備（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

効率（ 　　　　　　 ）

【照明】照明設備（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【給湯】給湯設備（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

効率（ 　　　　　　 ）

２．備考